

つなぐ50年 輝く 未来へ～市制50周年～⑥

昭和45年に誕生した本市は、令和2年7月1日に市制施行50周年を迎えました。記念事業は来年度に延伸となりましたが、「コロナに負けない！50周年」として市民の皆さまにメッセージを届けます。

岡守山市制施行50周年記念事業推進委員会事務局(企画政策課内)
☎・☎(582)1162 ☎(582)0539

皆 さまは、「市制施行50周年記念誌」をすでに手に取って見ていただけただけでしょうか。記念誌の10頁には、「守山市制誕生を祝って守山音頭の振付が完成」とあります。50年前にこの守山音頭を作曲した津田 薫さん(90歳)に、当時の貴重なお話を伺いました。

コロナに負けない！50周年

守山音頭 ～制作秘話～

◇守山音頭の作曲を依頼された当時の思い出

守山を代表する歌にしたいと、当時、市立守山女子高等学校の校長であった岩本 一夫さんが詞を作られ、その詞の作曲を依頼されました。曲の作成にあたり、改めて守山の歴史を学び、まちを丹念に回って、歌詞に出てくる風景や情景を思い浮かべながら曲をつけていきました。

◇守山音頭を作曲する際に一番苦労した点は

一番苦労したのは、歌い出しの「ハアー」のところでした。当時の民謡には「ハアー」と入っている歌も多くあり、「ハアー」の言葉に守山らしさと個性のあるメロディーをつけようと悩み、何度も何度も書いては消しての繰り返しでした。川田大橋からの景色を眺め、いろいろ、メロディーを口ずさんだことを思い出します。こだわり抜いた「ハアー」の歌い出しは、歌のレコード収録時、納得いくまで何度も録り直したことを覚えています。



守山音頭が完成した当時、夏の七夕まつりで初の総おどりが行われました

◇守山音頭の レコーディング 昭和45年、小森

ユキさんの歌声で最初のレコードを収録しました。レコーディングは京都のスタジオでしたが、初代市長をはじめ市職員も収録に立ち会っていました。守山音頭の完成を心待ちにしてくださっていたのだと思います。

◀津田 薫さん
青い鳥音楽学園 創設者
琴真流大正琴芳月会 宗家会長



その後、昭和50年には、歌手の都 はるみさんの唄声による守山音頭のレコードが発売されました。市制施行50周年を契機に、来年、守山音頭を復活させ、津田さんの大切な想いととも次々の50年につないでいきます。「守山音頭の踊り方解説動画」は、市ホームページからご覧ください。



守山音頭
市ホームページ